

三心を磨く

学校だより NO. 31

平成29年 12月 12日 (火) 発行

須坂市立東中学校

文責：金井 勝久 (教頭)

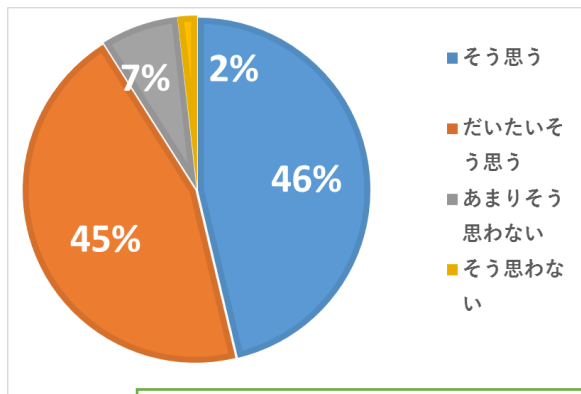
<http://www.azuma-school.ed.jp/>

「授業が充実し、わかりやすくて満足」が『91%』に！！

～授業アンケート（11月）の結果をお知らせします～

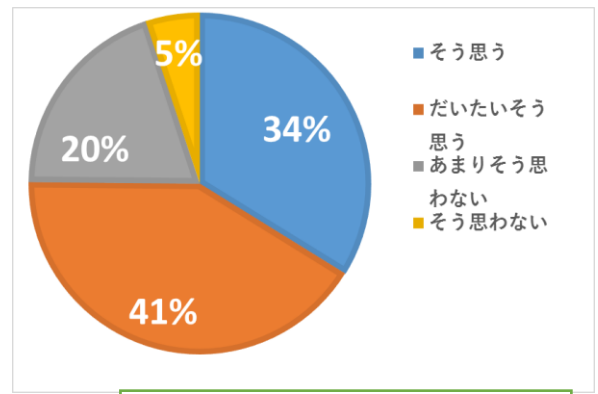
生徒の皆さんにも1学期に続いて「授業アンケート」をとりました。今回、その結果について6月（1学期）と比較してお知らせしますのでご覧ください。

【設問①】先生の授業は内容が充実していて
わかりやすく満足している。



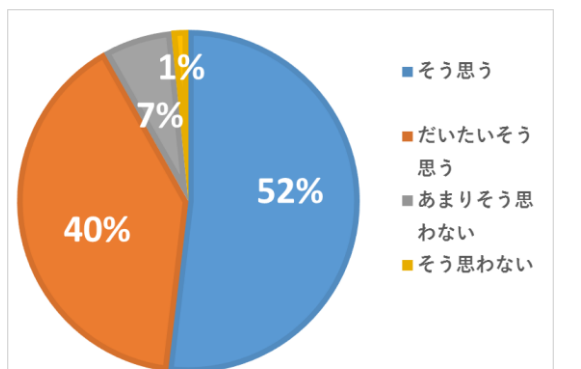
肯定的な回答 91% (6月：90%)

【設問②】授業の中に、友だちと関わり合いながら
学習する場面がある。(小集団学習)



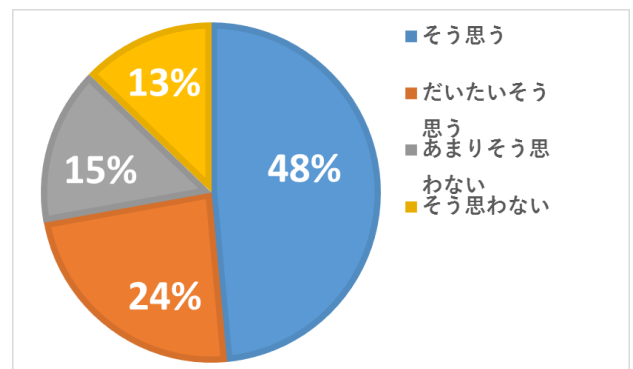
肯定的な回答 75% (6月：71%)

【設問③】先生の授業は、一人一人を大切にしているか



肯定的な回答 92% (6月：93%)

【設問④】先生の授業では、ICT機器が使われている



肯定的な回答 72% (6月：70%)

本校では、1学期（6月）と2学期（11月）に、上記のように ①授業の充実 ②友とのかかわりあい ③安心した授業 ④電子黒板やタブレットの活用の4項目について生徒からアンケートをとりました。

①「授業の充実」については、91%の生徒が「そう思う」「だいたいそう思う」と肯定的に答えています。4月より「授業の充実・わかりやすい授業」にむけてICTや小集団における授業の実践、職員の教材研究の充実を図ってきました。これからも充実した、わかりやすい授業の実践をすすめていきます。

②「友とのかかわりあい」については、「インプット型からアウトプット型の授業へ」という授業改善をすすめている現在、確実に小集団学習やグループ学習が行われ、「聴く・話す」といった活動が増えていることが分かりました。肯定的な回答が「80%」を越えるように、さらに研修や実践をすすめて参ります。

③「安心した授業」につきましては、授業者としての基本的な事柄ですので、肯定的な回答である92%という数値に満足することなく、100%をめざして研鑽していきたいと思います。

④ICT機器「電子黒板やタブレットの活用」につきましては、1学期に比べて活用する教科がさらに増えています。授業の特性から、ICT機器を使う場面が少ない教科もあります。そんな中で5教科（国語・社会・数学・理科・英語）の生徒の回答は、94%が肯定的な回答であり、英語は100%を達成しました。これからもさらに利用の促進、わかる授業の実践に努めていきます。

◇◇ 生徒たちからの記述から ◇◇

【生徒たちがよいと感じていることから】

- ・楽しくやれ、分かりやすい授業が多い（多数）。
- ・東中学校は、分かりやすく学べる環境が整っているのがよい。（多数）
- ・みんなと一緒に考えたり話したり、タブレットなどを使ったりの授業が多くなり、楽しくてよい。
- ・デジタル教科書やプロジェクターを使うことで、より授業がより分かりやすくなった気がします。
- ・グループ活動は理解が広がるのでよい。できるだけ多くやりたいので、もっと増やしてほしい。
- ・各教科で友達と話し合う場面が多いので、たくさんの意見を自分に取り入れることができ、楽しい。
- ・毎時間「そうなんだ!」と思うことがあり、授業をしていく中で興味があってもっと勉強したいと思える。
- ・先生たちは、分からないことがあれば一人一人教えてくださったり、アドバイスしてくださったりとすごくやりやすい授業が多くて「やろう」という気持ちになる。
- ・先生が一人一人を大切にしてくれるのでよかった。
- ・先生方が大事なところは、色を変えて書いてくれるのでとても分かりやすい。

【生徒たちが課題だと感じていることから】

- ・最近のクラスの雰囲気として、最近全体的に私語が多いと思う。（複数）
- ・先生たちがしっかりと教えているのに、少しうるさくなってしまい、指示が通らないことが少々ある。
- ・グループ学習がもう少しあっても良い。
- ・うるさい人や寝ている人がいるので、もう少し厳しく注意してほしい。
- ・生徒のダメな点やいけないことはもっと指導や注意をしてもらいたい。
- ・もう少し楽しく授業を受けたいので工夫してほしい。
- ・理解の難しい内容は、もう少しいねいに、説明や解説をしてほしい。

◇◇◇ 生徒たちの声から学んだこと ◇◇◇

○今回のアンケートでは、182名（全校生徒は185名）の回答中、106名に記述がありました。記述の多くは、「学校やクラス、授業が楽しい」というもの、「授業が分かりやすい」「ICT機器を用いた授業の楽しさや分かりやすさ」「グループや小集団学習の楽しさ」「学び合いの充実」などでした。これらの記述から、前向きな学校生活を送っている現在の東中生の姿を強く感じました。「ICTを活用したわかりやすい授業」や「協同的な学びによる生徒一人ひとりの主体的な学び」をさらに進めてまいります。

○課題についても、「よりよくなりたい」「学びのレベルをあげたい」という生徒の願いが感じ取れるものが多く、生徒の成長を感じています。よって授業中においては「ならぬものはならぬ」といった毅然とした指導を行い、TT指導の工夫と充実により「分かるまでゆっくり教えてほしい」という声に応えてまいります。また、「もっと工夫した授業を期待している」といった意見については、職員の授業の準備・授業づくりの時間をしっかり確保し、教材研究をより一層深めることで授業改善を進めます。この流れを大切に、さらに前進したいと思います。ありがとうございました。

